



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

ヨルダン：フセイン・ビン・タラール大学における衝突

(4月25日付ヨルダン・タイムズ紙)

1. マアーン県にあるフセイン・ビン・タラール大学において、学生間の衝突が発生し、4人が死亡、25人が負傷した。また、少なくとも22人が武器所持の疑いで逮捕された。
2. 目撃者によると、衝突の発端は、同大学設立14周年のイベントにおける展示をめぐり、マアーン県出身の学生とベドウィン出身の学生との間で口論が生じ、それが、互いに武器を使用した部族争いに発展したようである。
3. ヨルダン警察庁は、同大学学長の要請を受け、同大学に治安部隊を派遣し、他の学生の保護に当たった。
4. アミン・マフムード高等教育相兼科学技術研究大臣は、高等教育評議会は同大学内での衝突に関与した学生に対しては寛大な措置を取らないと語った。また、国内各地で発生している大学構内における衝突はコントロール不能となりつつあり、地域社会が協力してこうした状況を阻止していかなければならないと述べた。
5. ヨルダン警察庁のハティーブ報道官は、本件に関し、学内に設置してある監視カメラ映像を検証する必要があるとあり、授業は少なくとも5月6日まで休講にしなければならないと語った。
6. 大学内で死傷者を出した学生間の衝突は、本件が今回2回目である。1回目は4月2日、カラク県所在ムタ大学において発生し、1人が死亡した。